

# 2026 臺灣海洋國際青年論壇

## (Ocean Challenge 2026/オーシャンチャレンジ2026)

### 募集案内

#### 一・大会概要

海洋委員会が主導するオーシャンチャレンジ2026は、海洋の要素と革新的なアイデアを活用し海洋が直面する危機や課題に取り組む世界中の若い青年・学生応募者を募集しています。2019年の開始以来、これまでに、アジア、オセアニア、ヨーロッパ、アフリカ、ラテンアメリカなど28カ国から約千名の参加者を擁し、海洋保護の取り組みに携わってきました。世界中のより多くの若者が、持続可能な海洋開発を促進し、海洋レジリエンスの向上に向けて協力し合うためのアイデアを提案、実行、実現していくことを期待しています。

#### 二・主催者

海洋委員会（略本会）、米国在台協会高雄事務所（AIT/K）、日本台湾交流協会高雄事務所、マニラ経済文化弁事処（MECO）高雄分処

#### 三・参加資格

1. 参加資格：12歳～35歳までの学生または社会人。国籍は問わない。
2. 部門：年齢に基づき、青少年部門と青年部門に分けられる。各チーム2～8人構成、異なる学校や混合年齢のチームメンバーでの参加が可能（チーム内で年齢に偏りがある場合は、多数の部門でのエントリーとする。半数ずつの場合、希望する部門を選択してください。）
  - (1) 青少年部門：12歳～18歳
  - (2) 青年部門：19歳～35歳

#### 四・提案テーマ

今年のテーマは「グローバル・ソリューション、行動する若者たちGlobal Solutions, Youth in Action（全球解方，青年共創）」で、「海洋ネットゼロNet-Zero Ocean」、「海洋リテラシーと文化教育 Ocean Literacy & Cultural Education」、「海洋の安全 Safe Ocean」の3つの視点で、若者たちに革新的な思考を通して海洋課題に取り組む、行動、社会への影響、そして持続可能性の価値を兼ね備えた海洋危機への解決策を提案してもらう（詳細は別紙1をご参照ください）。

## 五・募集スケジュール

- 2026年5月25日（月）応募締切  
2026年7月31日（金）決勝進出者発表  
2026年9月初旬 決勝発表会

## 六・応募及び資料提出

1. 応募時間：2026年5月25日（月）台湾時間（UTC+8）23時59分まで

2. 募集方法

- (1) 応募用紙（別添2のAttachement 2：Application Form）に英語で記入
- (2) 応募用紙と提案資料（提案書及び紹介動画）を下のメールまで送信  
oceanchallenge01@gmail.com

3. 資料記入方法

### ・提案書

- (1) 提案書は言語を問わず提出可能ですが、英語以外の言語で作成されている場合は、英語訳文を添付してください。
- (2) 内容は、概要（500ワード以内）、現状、問題分析、解決策、期待される成果を含めてください。
- (3) 提案書は、テキストおよび画像を含めて6ページ以内に収めてください。
- (4) Googleフォルダにアップロードし、リンク先を提供してください。

### ・紹介動画

- (1) 長さは3分以内、スタイル・作風は問わない。セリフまたはナレーションには英語字幕を付けてください。
- (2) 解像度：1920×1080以上、ファイル形式：MP4
- (3) オープニングには、「チーム名」、「作品タイトル」、「Ocean Challenge 2026」を画面上に表示する必要あり。
- (4) YouTubeにアップロードし、そのリンク先を提供してください。

## 七・審査基準

1. 予備審査

当会が招集した専門家と学者で構成される審査委員会が、各チームの提案を以下の基準に基づいて審査する。1. 問題解決の有効性（25%）、2. 革新性（25%）、3. 実現可能性（25%）、4. 教育及び社会への影響（25%）。決勝に進む12チーム（青少年部門と青年部門それぞれ約6チーム）が選出される。

## 2.決勝

決勝はプレゼンテーション形式で行われる。言語やプレゼンテーション形式に制限はなく、プレゼンテーション、TEDTalk講演、またはビデオによる補足など、様々な形式で行うことができる。海外チームはオンラインでの参加も可能。各チームが最初にプレゼンテーションを行い、続いて審査委員会からのコメントと質問を受け、その後、各チームから回答。時間配分は以下のとおり。

- (1)提案プレゼンテーション：6分間
- (2)審査委員のコメントと質問：6分間
- (3) (2)への回答時間：8分間

## ハ・決勝大会での助成金及び各賞、賞金について

### 1. 決勝進出チームへの参加助成金

決勝に進出したチームには各チームに1万台湾ドルの助成金が支給される。賞金として授与され、提案内容の資金に使用することができる。

### 2. 決勝戦賞金：各部門賞1組ずつ

- 金賞：賞状及び12万台湾ドルの賞金
- 銀賞：賞状及び8万台湾ドルの賞金
- 銅賞：賞状及び5万台湾ドルの賞金

## 九・著作権

1. 参加チームは、募集することにより、本プロジェクトの実施によって作成されるすべての成果物（成果報告書、写真、動画資料（ビデオ録画、短編映画、音楽関連創作、ドキュメンタリーなどを含む文章画像資料）、およびその他の関連成果物を含むその著作権を、無償かつ非独占的に、本会、その共催者、およびそれらの権限を与えられた者に譲渡することに同意するものとし、非営利目的で、時間、地域、頻度、または方法の制限なく、プロモーションおよびマーケティング目的で使用することができる。本会またはその共催者との書面による許諾契約を別途締結することはない。

2. 参加チームが提出する企画書および紹介動画に第三者の著作権を使用する場合は、当該第三者から許諾書を取得し、関係当局に提出して保管する必要がある。また、受賞者は、本会またはその権限を与えられた者に対して著作者人格権を行使しないことに同意するものとする。

## 十・その他

1. 主催者は、募集案内を変更する権利を留保する。

2. 問い合わせ先

海洋委員会：電話番号：（台湾）886-7-3381810 内線261324

担当者：楊（Yang）科員

AIT/K：電話番号：（台湾）886-7-3355006 内線6007

日本台湾交流協会高雄事務所 Eメール: bunka-k1@ka.koryu.or.jp

3. イベントウェブサイト：<https://ocean-challenges.com>

YouTubeチャンネル：<https://www.youtube.com/@OceanChallenge01>

## 別紙1：共に海洋ソリューションを考えよう

あなたの方で、海を変えませんか？海洋ネットゼロ（ブルーカーボン × グリーンエネルギー × グリーン輸送）に焦点を当てた提案でも、分かりやすく共感できる方法で海洋リテラシーと文化を実践するものでも、AIと国際海洋法を活用して海洋安全を確保し、海上で人々を守るものでも、皆様のご提案をお待ちしております。テクノロジー、教育、そして政策を結集し、低炭素で、より影響力があり、より安全な海の未来を共に築きましょう！

### (1) 海洋ネットゼロ（Net-Zero Ocean）

想像してみてください。もし、二酸化炭素回収・利用・貯留（CCUS）技術を組み合わせ、マングローブ、海草藻場、塩性湿地などのブルーカーボン生態系を、さらに強力な「天然の炭素吸収体」に変えることができたらどうでしょうか？さらに一方進んで、AIとビッグデータ分析を用いて炭素吸収・貯留の性能と生態系の健全性をリアルタイムで監視できたら、どれほど素晴らしいことでしょうか？

エネルギーと産業の側面から、よりスマートな海洋の未来を築くための課題に取り組むことができます。例えば、環境に優しい海洋再生可能エネルギーソリューション（洋上風力、海洋エネルギー）を設計したり、船舶向けの新たなエネルギー源（水素、電気、メタノール燃料）を深化させ、従来の船舶を真に環境に優しい船舶へと進化させたりすることなどが挙げられます。AIを活用した航路最適化による燃料消費量の削減や、ブロックチェーン技術を活用したカーボンフットプリントとグリーン燃料の供給源の追跡により、炭素削減の透明性と信頼性を高めることができます。

### (2) 海洋リテラシーと文化教育（Ocean Literacy & Cultural Education）

海を愛するには、まず海を理解する必要があります。しかし、真に海を「大切」にするには、海が私たちの日常生活、記憶、そして文化とどのようにつながっているかを理解する必要があります。海洋科学を分かりやすく、楽しく、そして共感できるものにするのが、持続可能な行動の出発点です。

VR/AR、ソーシャルメディア、ポッドキャスト、動画、そして芸術作品などを活用することで、複雑な海洋科学を身近で理解できるものにするのができます。また、海洋観察、ビーチクリーンアップ、データ報告など、市民科学と組み合わせることで、「海について学ぶ」ことが「共に海を守る」ことに繋がるのです。さらに、文化を取り入れる提案も歓迎します。

地元の漁業、港の物語、伝統的な知識、海洋信仰、食文化などを教材として、異文化交流コースや展示会、パフォーマンスを企画したりすることで、海が単なる自然資源ではなく、私たちが共有する文化遺産でもあることを人々に理解してもらうことができます。

### (3) 海洋の安全 (Safe Ocean)

提案を「平時から危機発生時まで」運用可能な防災・海洋レジリエンス・ソリューションへと発展させることができます。例えば、AIとビッグデータを組み合わせて気象、潮汐、海流、船舶の動態、沿岸監視を統合することで、暴風雨早期警報、津波・高潮リスクアラート、海難事故多発地点分析、リアルタイム通報メカニズムなど、よりスマートな予測と警報を構築できます。

学校や地域社会における教育活動、明確な救命・避難誘導と組み合わせることで、安全はもはや運に左右されるのではなく、備えによって確保されるようになります。また、公開情報を活用して、市民主導による海洋の安全とレジリエンスに関する行動を促進することもできます。例えば、海域で航行する「ダークシップ」（自動船舶識別装置（AIS）を停止している船舶）の摘発、基準を満たさない便宜置籍船の追跡、動的な海底ケーブル安全マップの作成などが挙げられます。こうした取り組みは、海上における違法行為の透明性を高め、国際的な非難と抑止力を強化し、ひいては海洋安全保障秩序全体の強化につながります。

あなたの提案は、「安全な海洋」という概念を、より高いレベルに引き上げることも可能です。国際海洋法を枠組みとして、台湾海峡、南シナ海、東シナ海の3つの海域における共通の法的主張とルールに基づく物語を比較し、航行の自由、海洋管轄権、海洋法執行の正当性、海洋境界画定、紛争解決メカニズムを通じて、様々な当事者がどのように秩序を形成しているかを分析することができます。これに基づき、台湾の人々の海洋安全保障を守るための「ルールに基づく行動計画」を提案することができます。具体的には、多言語による法的立場表明書や政策提言ツールキットを作成し、台湾海峡の安全保障問題を国際海運と地域の安定という共通利益と結び付けること、そして多国間フォーラムにおいて、志を同じくする国々の間で協調的な議論と制度化された協力を促進することで、台湾が海洋ガバナンス、航行秩序、そして地域安全保障に関する議論に参加し、支援を受けられるよう努めます。

## オープンデータプラットフォーム

創造性を刺激するさらなるリソースが必要ですか？以下のオープンデータプラットフォームをご参考ください。

- ・ NODASS国家海洋データベース・共有プラットフォーム: <https://nodass.namr.gov.tw/>
- ・ iOcean: <https://iocean.oca.gov.tw/>
- ・ 環境データオープンプラットフォーム: <https://data.moenv.gov.tw/>
- ・ 台湾海洋船舶動態情報システム: <https://reurl.cc/p9ERxQ>
- ・ 海上交通: <https://reurl.cc/eGYo5b>
- ・ Global Fishing Watch: <https://reurl.cc/1XRWZm>

\* これらはオープンデータプラットフォームのほんの一例です。他の政府機関のオープンデータも活用できます。

## Attachment 2: Application Form

1. General Information								
Categories	<input type="checkbox"/> Teen <input type="checkbox"/> Youth			Team's Name				
Title of Proposal								
	Name	Gender	Nationality	Ethnicity (skip it if not applicable)	Date of Birth	Mobile	Email	Organization/School
Captain				<input type="checkbox"/> Indigenous Tribe:				
Member				<input type="checkbox"/> Indigenous Tribe:				
Member				<input type="checkbox"/> Indigenous Tribe:				
Member				<input type="checkbox"/> Indigenous Tribe:				
Member				<input type="checkbox"/> Indigenous Tribe:				
Member				<input type="checkbox"/> Indigenous Tribe:				
Member				<input type="checkbox"/> Indigenous Tribe:				
Member				<input type="checkbox"/> Indigenous Tribe:				
2. Coach's Contact (if applicable)								
Name				Gender		Organization		
Email					Mobile			